



平成31年1月号

## 伊勢市青少年相談センターだより



伊勢市青少年相談センター 伊勢市小俣町元町540 小俣総合支所1階 TEL 22-7894

# 新年にあたり

伊勢市青少年相談センター 所長 岩村 敏彦

新年明けましておめでとうございます。



平素は伊勢市青少年相談センターの諸活動に格別なるご理

解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、警察の統計によりますと、刑法犯少年の検挙人数は、全国的にも、県下的にも年々減少し、平成29年は過去最少で、平成30年もこの傾向は変わっていない状況です。しかし、近年スマートフォンやSNSを始めとする新たな機器・サービスが急速に進化し、これらに起因するトラブルや被害が増え、大きな問題となっております。また、昨年は、女子児童の誘拐、殺害という痛ましい事件が起こり、地域における不審者対策に対する関心もますます高まっています。これに加えて、不登校やいじめの問題も依然として残っており、青少年を取り巻く環境は厳しいと言えます。

伊勢市青少年相談センターでは、青少年の健全育成のため、本年も皆様と協働し、子ども達が健やかに育つ環境づくりをめざした諸活動に取り組んでまいります。何卒ご協力を賜りますように、宜しく申し上げます。

## インターネットトラブル事例

(総務省・警察庁資料から)



〇〇ちゃんの話ってさー  
いつも面白くない

ひどい!

うっかり「？」を付け忘れたために  
一方的にグループから外  
されてしまった!

青少年の日5日

家庭の日20日

クラスの仲良し数人でやっているグループトーク。Bさんは、書き込みの後に「？」を付け忘れたまま、スマホを置いてお風呂に入ってしまった。お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などの書き込みが。誤解を解こうとしても、反応なし。Bさん以外のメンバーは別グループを作り、Bさんを外したのです。

無料通話アプリのグループトークで生じる“いじめ”や“仲間外れ”は、地域を問わず課題となっています。特定の子に対し、その子の発言だけ無視する、その子にとって不快な写真や動画をグループで共有する、その子以外とグループを作り、悪口を言う、その子をグループから突然外すなどがあり、何気ない出来事からいじめに発展することも少なくありません。

メンバーでなければ会話の内容を読むことができないため、トラブルの発見が遅れがち。日々の様子や会話から子どもの変化に気付くこと、これが早期発見や解決につながります。

### 考えてみよう!

**会話の流れが速いため、ちょっとしたことで誤解や感情の行き違いが生じやすいグループトーク。いじめやトラブルを起こさないために、できることは?**

#### ● 文字だけの会話だから

「？」と「！」では意味が間逆になることもある文字の会話。こういった記号、スタンプ、顔文字などを巧みに使って、みんなに正しく伝わるようにすることが大切。

#### ● 早くて複雑な会話だから

グループトークはテンポが速く、複数の会話が並行して飛び交います。途中参加をすると、流れをつかむのは至難の業。でも、曖昧な状態での会話はトラブルの火種になるのです。

#### ● ムカッ! イラッ! としたら

どんな会話でも、嫌な気持ちになることはあります。そんなときは感情をすぐにぶつけず、一呼吸して考えて。文字だとケンカになりそうなら、電話で話してみるのも良い方法です。